

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2020.08

BULLETIN

2020年7月～2021年6月



国際会長 Jacob Kristensen「VALUES , EXTENSION and LEADERSHIP」(デンマーク)
アジア太平洋地域会長 David Lua「Make A Difference / 変化をもたらそう」(シンガポール)
東日本区理事 板村哲也「Let' enjoy Changes / 変化をたのしもう！」(東京武蔵野多摩)
関東東部部長 柿沼敬喜「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」(東京グリーン)
クラブ会長 西澤紘一「ワイズの絆を広げよう」(グリーン)

会長 西澤 紘一
副会長 浅見 隆夫
副会長 青木 方枝
書記 布上征一郎
会計 青木 方枝
監事 柿沼 敬喜
担当主事 木村 卓司

8月 見舞い/家族の絆

「ヨセフがまだ生きています。しかも、エジプト全国を治める者になっています。父は気が遠くなった。彼らの言うことが信じられなかったからである。・・・(中略)・・・父イスラエル(父ヤコブ)は言った。「よかった。息子ヨセフがまだ生きていたとは。わたしは行こう。死ぬ前に、どうしても会いたい。」

<グリーンワイズのメンバーは家族のようなもの。一人一人を気遣いながら、絆を強くしていきましょう。>
(創世記45:27～28)

2020年08月 Zoom ウェブ 例会

CS・YMCAサービス/パートナーシップ



日時：2020年08月12日(水)
18:00～19:30

Zoom ホスト/進行: 布上君

開会挨拶 西澤会長
聖句・お祈り 青木君

各種報告・協議

- | | |
|---------------------|-----|
| 1、関東東部関連 | 柿沼君 |
| <部会・チャーターナイトへの取り組み> | |
| 2、納涼会・神田川関連 | 目黒君 |
| 3、YMCA 情報 | 木村君 |
| 4、その他 | |

Happy Birthday<8月 浅見隆夫メン 1名>
閉会挨拶 西澤会長



地域奉仕・YMCA サービス事業主任

小原 史奈子(東京たんぼぼ)

地域奉仕・YMCA サービス事業主任
を務めます、東京たんぼぼYサービスクラブの小原史奈子です。

今年度の強調月間は昨年と変更があり、8月は「CS:地域社会への奉仕活動」の他に「YMCA サービス」「パートナーシップ」が取り上げられます。例年ですと、8月にはYMCA のキャンプや各種催し、地域をまきこんでの活動が目白押しになっているはずでした。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止を意識した生活が求められています。そんなコロナ禍でも豪雨被害など自然災害が次々おきています。

一番はご自身の身を守って頂きながら、ワイズ、YMCA 活動をそれぞれの地域に合わせて考え、実行し、情報のシェアをお願いいたします。各クラブからのプリテンでニーズに合った活動を参考に「今出来る事」をはじめてみましょう。巣ごもりで、孤立、孤独にならないように、声かけをお願いいたします。また、「YMCA サービス」で今すぐ出来る事は「ポジティブネット募金」への協力です。コロナの影響を受ける青少年支援募金で、YMCA に関わる子ども、ユース、地域で暮らす人々の支援の為に、集められた募金は使われます。体を動かして直接奉仕がしにくい今、募金を集める事で間接的なサポートをお願いいたします。

可能であれば、地域のみなさんにもお声がけ頂き、「ワイズが地域とYMCA をつなぐ架け橋」になってください。

(理事通信8月号より抜粋転載させていただきました。布上)

【例会出席率】 在籍:16名

メーキャップ 3名 出席率 13/16 81%

出席: 7月 (メン10名、メネット1名) 計11名

【ニコニコ】 7月例会 10,000円

＜2020年07月 第一例会 報告＞

日時:2020年7月15日(水) 15:30~17:00

場所:東陽町コミュニティーセンターYMCA ホール

出席:青木・柿沼・木村・古平・佐野・西澤・布上(征)
根本・樋口・目黒 / 布上(信)メネット (11名)



今期最初のキックオフ例会はYMCA東陽町センターのホールで開催した。6月のYMCAホールでの期末例会に続き、出席者11名はゆったりとソーシャルディスタンスで着席、マスク着用、集まる時間帯も会場までの交通機関の空いている時間帯として午後3時半例会開始とした。今回も食事は無しである。

今月のスピーカーはメンバースピーチで木村主事が今年2月23日~3月1日までミャンマーを訪問し、現地首都のネピドーYMCA、ソウジャクソン総主事等と交流を行い、日本-ミャンマーの懸け橋となるべく諸々活動を行った。一緒に訪問したのはYMCAの松本さん、戸坂さん、押山さん。

嘗てイギリス領であったビルマを第二次大戦で日本軍が解放、3年間の軍政ののち、ビルマ連邦として独立を果たした。その後軍事クーデターなどあり、社会主義政権を樹立、さらにそれを国軍が政権を掌握、国名をミャンマーに変更、国内の政情は安定せず、アウンサンスーチー女史も自宅軟禁されるなど、混乱も続いたが、選挙によって第8代テインセイン大統領を選出、国名もミャンマー連邦共和国になり、さらなる総選挙では国民民主連盟(NLD)が大勝するに至った(2015年)。現在はウインミン(第10代)。

ミャンマー連邦共和国 概略

面積68万km²(日本の約1.8倍)。人口5,141万人

首都 ネピドー(ヤンゴンから移転)

民族 ビルマ人70% 言語 ビルマ語

宗教 仏教(90%) キリスト教 イスラム教など



＜星型スパイス 八角の植樹＞中華料理に欠かせないスパイス、「八角」を栽培して村おこしの事業にしようとしている。(タミフルの原料にもなる)。今後、交流を深めて学校関係への支援、人的交流



など我々で出来ることは協力、支援していきたい(木村) 神田川委員会、目黒委員長から8月の納涼会の中止報告あり。8月のハッピーは布上メネット1名、出席。

(布上 記)

＜2020年08月事業委員会・役員会報告＞

【7月18日(土) 千葉ウエストクラブ設立総会

& 関東東部第1回評議会】

・会場: 船橋商工会議所会館 (JR船橋駅から7分)

＜設立総会＞千葉クラブがスポンサーをされた。

12:30~受付 13:00~14:00

部役員出席者 柿沼部長・布上書記・(浅見主査)

・樋口主査・布上連絡員 / (西澤クラブ会長)

(当日は欠席)

＜関東東部第1回評議会＞ 14:30~16:30

クラブ参加者:上記に加え 青木会計(計5名)

《8/12 ウェブ会議で改めて報告》

・8月19日(水)で考えていた夏の納涼会企画 屋形船で船上の会は諸般の事情を踏まえて中止とした。

・10月10日(土)に予定の神田川船の会も中止決定。

【クラブ内の動向】 7月1日からの変更事項

・浅見クミ子さんが休会会員になった。

・古平光市メンが功労会員(有償)になった。

・会計担当の交代は 青木方枝さん 口座はプリテン掲載

・8月5日(水)神田川委員会:Zoomにて。

・8月12日(水)はZoomで18:00~例会開催。

・9月2日(水)神田川委員会:Zoom 会議にて? 未定

・9月9日(水)Zoom 役員会11:00~

・9月16日(水)例会 YMCA 東陽町15:00~開催

＜伊奈地メンスピーチ予定＞

・10月3日(土)浅草橋ヒューリックで「関東東部大会」

部大会の中にチャーターナイトを組み込むという斬新な企画。会場からの要請は借りた部屋は130名くらいのキャパであるが、今回は66名の参加に絞ってほしいとの事。ご出席の人選に苦慮しそう。

なお、当日は午餐会スタイルで昼食は前半の豪華弁当をお楽しみいただき、午後からセレモニーを開催予定。千葉ウエストクラブ設立のスポンサークラブ、千葉クラブ長尾メン、関東東部柿沼部長、布上書記で内容を詰めています。部大会は浅見実行委員長、樋口実行委員をはじめとして、クラブの総力を挙げて成功させたい。(布上 記)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい

第一勧業信用組合 東浅草支店

010-6844573

東京グリーンワイズメンズクラブ

会計 青木方枝

8月 Happy Birthday

浅見隆夫メン 1名

新クラブ設立総会と第1回評議会



2020年7月18日(土)(仮)千葉ウエストクラブの設立総会が千葉クラブのスポンサーで行われました。会場は船橋商工会議所会館です。千葉ウエストクラブの設立準備は2018年12月から始まり、2019年～2020年6月までの設立準備会、例会を重ねて、本日の設立総会になりました。8名のチャーターメンバーによる新クラブ、長い間のご努力に頭が下がります。改めてお祝いを申し上げます。さらに来る10月3日には東京の浅草橋ヒューリックビルで行われる関東東部大会のメインプログラムとして千葉ウエストクラブのチャーターナイトを組み入れる企画を進めています。

第1回関東東部評議会



2020年7月18日(土)上記の新クラブ設立総会の後、第1回関東東部評議会が同所で開催されました。部の役員会はZoom会議でしたが、本番の評議会は上記新クラブ設立総会という快挙の中で総会の後、評議会を開催、部長挨拶、新旧部長引継ぎ式、各事業主査活動方針、10クラブ、各クラブ会長活動計画など発表、部の会計、書記からのお願い、東日本区役員会報告などあり順調に進行、時間通りにお開きとなりました。10/3も同様のメンバー+αの参加者になりそうな部大会とチャーターナイトですが、しっかりと記念の会を大いに盛り上げて思い出に残るものにしたいです。(布上 記)

コ ロ ナ 雑 感

7月2日、東京の新規コロナ感染者107名が出たと言う。さすがに100名を超えると穏やかではないと思ったのも束の間、8月になると300名、400名超えが当たり前となり、最近では300名と聞いても驚かなくなった。当初、知事は「新宿、池袋の歓楽街に徘徊する若者が感染拡大の原因である」と言っていたが、今や市中感染、家庭内感染が目立ってきた。しかも感染者の年齢層も全世代にわたっている。今度は、「感染者数に関わらず、重症者、死者の数が諸外国に比べて過少である」と言い出した。

専門家によると、ある期間を経て感染者全体の一定割合で、重症者が出ると予測しているし、たとえ軽症であっても回復後の後遺症(心筋炎?)による長期療養のリスクがあるとされ始めた。したがって、NYで成功したように徹底したPCR検査と陽性者の隔離により感染者を減らすことが最重要であるはずだ。

にもかかわらず、GoTo?などと効果の薄い経済対策にうつつを抜かし貴重な税金を使っている。これだけコロナ汚染された観光地に誰が行くのか?

幸い日本には影響がなかったが、これまでSARSやMARSの流行経験があり、他山の石として十分学習することはできた。ましてや2009年に発生した新型インフルエンザでは、多くの感染者と死者まで出して大騒動をした。その時に、感染症の専門家が経過とその対応策(特に今後の提言)を詳細にまとめて厚労省向けに報告書を提出したと聞く。今回、その経験を参考にしたと言う話は寡聞にして聞いたことがない。今回は、専門家会議の議事録さえ作っていないと言う。

サラリーマンと異なり、何が起ころうと給与の減額はなく、身方も完全保証されている政治家や役人は、いったい何をしてくれているのか? こういう危機の時にこそ体を張って納税者のために尽くしてくれるのではなかったのか?

無責任、無作為、無計画、無理を通す、嘘と言いつ、そして身銭でない他人の金(税金)は、湯水のごとく使う。……これが答えとすれば、ほとんど、税金を払うのが嫌になった。ヒットドラマの「半沢直樹」の中のセリフが身に染みる。「自分自身のためにだけ働く社員は要らない、お客さんのため、社会のために働くことが社会を豊かにする」

(西澤 記)

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 2020-2021年度前期 現勢

東日本区合計	2018	2019	2019	2020	2020.7.1			直近増減
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	
総クラブ数	59	59	61	61	クラブ数:60			△1
総会員数	860	866	849	875	20	65	830	△45

(8/1 理事通信より転載)

「ベーム絶好調のモーツァルト」



交響曲第 39 番
W. A. モーツァルト
(1756-1791)
交響曲第 39 番変奏長
調K.543 (1788)
指揮:カール・ベーム
(1894-1981)
ベルリン・フィルハーモニー
管弦楽団(1966 年録音)

モーツァルトは1788年32歳の夏、最後の3つの交響曲39, 40, 41番を一気に作曲しました。

それぞれ曲想が異なりますが、その中で私はこの第39番を最も気に入っております。曲全体が明るく清楚な感じで、晴れ晴れとした気持ちになれるのです。

この曲との出会いはカール・ベーム指揮ベルリンフィルによるグラモフォンレコードです。発売当初のジャケットでは、ベームの気難しそうな横顔に重々しさを感じたものです。また録音がよすぎて、強音ではスピーカーがジリジリと響きました。(私のアンプが安物だったのです)

とにかくモーツァルトの曲は優美なイメージがありますが、このベーム絶好調時のベルリンフィルの演奏は、武骨で力強く、実に男らしいのです。

のちの同指揮者のウィーン・フィルとの優雅な空気のCDとは全く異なります。

第一楽章、何か威厳のある物語のはじまりを予感させるような長い序奏のあと、軽快でメリハリのあるリズムとメロディーが続き、力強く、さわやかな気分です。ベーム特有のやや強めのティンパニーが曲に深みを与えます。

第二楽章、ひとときのやすらぎを楽しんでいるかのようなすこし長目の歌です。途中で短調に切り替わるところがありモーツァルト独特の哀愁が漂います。

第三楽章はメヌエット、3拍子の舞曲。中間部の2本のクラリネットが美しく、当時ベルリンフィルの名手がなかなか渋い音色で聴かせます。

第四楽章はフィナーレを飾るにふさわしい堂々とした曲です。たった4分の楽章です。軽快で短いテーマが変化しながらくりかえされ、緊張が途切れることなく圧倒的な力で締めくくられます。

ライブでは、2020年8月1日の地元ミタカ・フィルハーモニアの演奏会(指揮:沼尻竜典)。ソーシャルディスタンスをとりながらも、奏でる喜び、聴く喜びが合体。心洗われるひとときでした。
(樋口 順英 記)

1.「コロナの影響を受ける青少年支援緊急募金－YMCA 子ども・ユース支援 ポジティブネット募金」を開始しました。全国YMCAが共に取り組み、2021年3月末を期限に全国で3億円の目標額を掲げています。東京YMCAでは子どもたちの心身の健康を守る活動、困難を抱える子どもたちを支える活動、学生やユースボランティアの学習等を支える活動に用いていく予定です。

2. 7月10日から夏期プログラムの受付が開始された。今夏は新型コロナウイルス感染防止のため、定員を半数以下とし、日帰りデイキャンプ、ファミリーキャンプ、オンラインによるキャンプなど、3密を避け、例年とは違う方式で行うよう内容を工夫しました。水泳、テニス、英会話等のスクールも実施しています。

3. 1920年に初めてYMCAの組織キャンプが実施されて今年で100年になることを記念し、全国YMCAで様々な記念事業が開催されています。その一環として東京YMCAは、コロナ禍でキャンプに参加できない子ども718人に、記念Tシャツと「キャンプ100の歩み」のリーフレットを贈りました。またこれに賛同する多くのリーダーOB・OG等関係者より寄付や協力をいただきました。

4. **インターナショナルチャリティーラン**
今年度はコロナウイルス過のため、例年のスタイルでの開催は難しいですが、10月24日～11月1日まで9日間、スマホアプリを使用して6名～20名のチーム平均歩数で競うウォーキング大会を開催いたします。1チーム10万円の参加費に変わりありません。(木村 記)

会員芸術祭 オンライン芸術祭

第23回会員芸術祭(2020年8月～9月)

「東京YMCA会員芸術祭」は、東京YMCAの会員・関係者が自身の趣味・特技を披露する交流イベントで、例年、絵画や書画、CGアート、陶芸、手芸、彫刻など、多彩な作品が会館を彩ります。

23回目を迎える今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「オンライン芸術祭」として開催することといたしました。42名の会員・関係者が参加し、63点のバラエティ豊かな作品が出展されました。

【グリーン出展】

浅見隆夫

水彩画

古民家



布上征一郎

写真

神田川船の会 運行
浅草橋界隈